

記録

ビデオ

カラー/普及編29分、  
記録編55分

■企画

文化庁

■協力

玉川村 玉川村教育  
委員会 南須釜念仏  
踊保存会  
笛・鉦 大野福一  
小原安春  
阿部金四郎  
石森春男  
懸田弘訓 (福島県文  
化財保護審議会委員)  
縫 昌弘 (真言宗最  
殿山文珠院東福寺住  
職)  
東京国立博物館

スタッフ

■製作

山本孝行

■演出

川崎 仁  
細矢知里

■撮影

山屋恵司  
中井正義  
山谷明彦  
西島房宏  
今野聖輝

■音声

鈴木修二

■照明

佐藤大和

■CG

Brain23

■編集応援

石井香宗江

■選曲

徳永由紀子

■編集・録音

東京テレビセンター

■ナレーター

杉山裕子 (普及編)  
高木達也 (記録編)

文部科学省選定

過疎化に伴う少子化により、踊り子の確保、うたや踊りの伝承が段々と難しくなっている今、村に伝わる伝統芸能の一つである「南須釜の念仏踊 (みなみすがまのねんぶつおどり)」は「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」として選択され、記録保存した。



南須釜の念仏踊は、福島県石川郡玉川村 (たまかわむら) の東福寺で行われ、4歳から13歳までの少女たちが年に2回、春は奉納、夏は仏の供養として、鮮やかな着物に身を包み、化粧をし、花笠をかぶって華やかな姿で踊る行事である。念仏や和讃 (わさん) を唱え、鉦や太鼓を打ちながら踊る念仏踊は、いろいろと変化し、ここでは念仏に合わせて少女たちが美しく踊る。

4月3日は東福寺境内で、8月14日・15日は境内と新盆の家々の庭先で踊る。その歌詞はいずれも長文の口説 (くどき) で、演目は「小夜の中山 (さよのなかやま)」「ねずみ」「小かじ」「どたら」「さんちよい」「おみよ」「松川」「西方へ」「下妻」からなっている。